

令和7年度「山形学」第3回講座 実施報告書

講座概要

◆日 時：9月13日（土）9:30～16:00

◆会 場：山辺町 作谷沢支所

◆テーマ：「おもしろ農楽～つながる広がる地域の活力」

第3回テーマ「地域のチカラ 農村コミュニティ」

◆内 容：

講師 稲村 和之氏（グループ農夫の会 会長）

寺嶋 政之氏（山野辺町作谷沢支所 支所長）

高橋 信博氏（農村づくりプロデューサー）

コーディネーター 佐藤 純氏（「山形学」実行委員）

実行委員 村山 秀樹氏、中川 恵氏、結城 こずえ氏

◆プログラム：

9:25 事務連絡

9:40 出発

10:20 大蕨棚田見学

11:10 講話 稲村 和之氏（グループ農夫の会）

11:40 休憩（10分）

11:50 講話 寺嶋 政之氏（山辺町作谷沢支所）

高橋 信博氏（農村づくりプロデューサー）

13:30～ 昼食（そば処弁天）

15:30～ 解散

◆参加者数：29名

1. 大蕨棚田散策

日本棚田 100選に選ばれた大蕨棚田を 15 分ほど散策した。棚田の見どころや、棚田ならではの天日干しや品種の説明をしていただきました。これまでのご苦労や工夫を教えていただき、受講生の皆さんは、ますます興味が湧いた様子でした。



2. 稲村氏（グループ農夫の会）講話

2010 年頃には、将来的な棚田の消滅が危惧されていたという新聞記事のご説明を皮切りに、棚田存続のために立ち上がった有志の方々によるグループ農夫の会の活動の概略をお話いただきました。



苗植えに始まり、収穫で終わる一年のサイクルも田んぼの上だけにはとどまらず、山形交響楽団やモンテディオ山形とのコラボレーション活動を起点に、棚田トワイライトコンサートや交流会の実施など、棚田存続を軸にした多彩な活動を学びました。また、グループ農夫の会の取り組みは全国的にも高い評価を受けており、数々の賞などのご紹介もいただきました。



3. 寺嶋氏（山辺町作谷沢支所）講話



現在、高齢化率 55%（山辺町全体では 36%）となった作谷沢地区の長きにわたる地域活動全般をお話いただきました。「作谷沢を愛する人の蕎麦の集い」、「まんだらの里 雪の芸術祭」など、作谷沢地区の人々が老若男女、一体となって作り上げ、盛り上げるイベントについての説明からは、作谷沢地区が時間をかけて育んできた団結力がうかがえました。

4. 高橋氏（農村づくりプロデューサー）講話

寺嶋様の講話のあとには、作谷沢地区を長年導いてこられた高橋氏の講話でその歩みを振り返っていただきました。作谷沢地区が動き出したきっかけ、そして住民を巻き込んだワークショップの歴史、そして現状など、数字を交えながらのご講話で、深

く学ぶことができました。高橋氏は、あくまでもこの講話は個々人が動き出すためのヒントと位置付けており、聞く側が自らの地域に置き換えて考える契機となったように感じました。



参加者の感想

- ・道路側から見るだけよりも、上の方や斜めから眺めて、日本の原風景を味わうことができました。稲刈り前日に見られて、しかも雨も止んでラッキーでした。地域づくりの話もとても考えさせられました。
- ・地域の宝を再認識し、人とつながり居心地の良い空間を創り、みんなで面白がって生きていけたら最高ですね。私は自分の町の活性化に貢献したいと思っています。
- ・地元を愛し、誇りにしつつ、更なる未来へつなげていく活動を直接聞けてよかった。高橋氏の裏話も興味深かった。
- ・子供から高齢者まで誰もが参加し話し合いを重ねて何のために何をしたいのかを明確にし、誰もが役割を持つ地域づくりに本気で取り組む作谷沢の皆さん、素晴らしいです。応援していきます。
- ・そばがおいしかった。楽しく学んだあとは、地元の名店で味わうという流れが良かった。遠足気分を味わえました。
- ・高橋さんのこれまでと現在、これからについて、淀みない話を伺うことが出来て本当に良かった。問題を明確にし、それぞれの言葉を大事にしてきた結果なのだと納得。腑に落ちた。

講師の皆様、そして実行委員の皆様、参加いただいた受講生の皆様のおかげで充実した講座となりました。次回もどうぞお楽しみに！